

総合的な学習の時間指導案

平成 年 月 日
 ○○小学校 4, 5, 6 年生 31 名
 指導者 T1 栄養教諭・○○○○
 T2 養護教諭・○○○○

- 1 単 元 名 栄養教諭と学ぶプログラミング「ロボットレストラン」
- 2 単元設定の理由 プログラミングの基礎を理解させるには料理の工程を例にあげるとわかり易い。ロボットのプログラミングの操作の過程をとおして、プログラミングの基礎を学びながら食のマナーや、身近な食品を使う簡単な料理の調理工程を理解させたい。
- 3 単元の目標 ロボットのプログラミングの操作の過程をとおして、プログラミングの基礎がわかると同時に、食のマナーや、調理工程がわかる。
- 4 単元の評価規準

評価の観点	関心・意欲・態度	主体的・創造的・協働的に取り組む態度	自己の生き方
評価規準	プログラミングに関心を持ち、主体的に取り組もうとしている。	課題についてわかったことを友だちと交流しながら、工夫して取り組むことができる。	学習したことを自分の生活に生かすことができる。

5 指導計画

小単元名（時間）	主な学習活動	評価規準・評価方法
プログラミングってなあに （1 時間）	1. ロボットはプログラムで動くことを知る。 2. 接客のあいさつを考える。	関心・意欲・態度（観察） ◎ ロボットが動く仕組みに興味を示しているか。 ◎ 進んであいさつの言葉を考えているか。
ロボットを動かそう （1 時間）	1. コレグラフを用い、プログラミングし、ロボットを動かす。 2. 身近な食品、たまごを用い、たまご焼きをつくる調理工程を知る。	主体的・創造的・協働的に取り組む態度（観察） ◎ コレグラフを用い、さまざまな言葉、動作からよりよいものを見つけ、積極的に操作しているか。 ◎ 卵焼きの調理工程を見つけられるか。
ロボットレストランに行こう （1 時間）	1. 自分たちがプログラミングしたロボットのレストランに行き、プログラミングの成果を確認する。 2. 感想を発表する。	自己の生き方（感想発表） ◎ プログラミングに興味を持ったか。 ◎ たまご焼きの調理工程を知り実際に卵焼きを作ってみようとしているか。

総合的な学習の時間指導案

平成 年 月 日
 ○○小学校 4, 5, 6 年生 31 名
 指導者 T1 栄養教諭・○○○○
 T2 養護教諭・○○○○

- 1 単元名 ロボットレストラン「プログラミングってなあに」
- 2 目 標 ロボットレストランで働くロボットのプログラミングをとおして食に関するマナーや調理の工程を知ることができる。
- 3 食育の視点 接客のマナー（社会性）調理工程の理解（食事の重要性）
- 4 展 開

学習活動	指導者の働きかけ・留意点	
	T1	T2
1. 本時の学習課題を知る。	・ プレゼンロボットレストランを始める	・ プレゼンのマンパクさんの役割をする。
2. ロボくんの間違えた理由を考える。	・ ロボくんの間違えた理由を考えさせる	
3. ロボットはプログラムで動いていることを知る。	・ ロボットはプログラムで動くことを説明する。 ・ 留守番ロボットから、ロボットシェフに切り替えるとよいことを知らせる。	
ロボくんのプログラムに挑戦しよう		
4. 留守番ロボットからロボットシェフに切り替える。	・ ロボットシェフが不完全なので、児童によりよいプログラムの内容を考えさせる。 ・ コレグラフの操作を説明する。 ・ 児童に操作させる	・ メンターとして児童の操作の補助をする。
5. ロボットのプログラムを考える。 ・ あいさつの言葉 ・ 卵焼きの調理工程①	・ ロボットにつなぎ、実際に動かしてみる。 ・ すべての班が終了したら、ロボットのプログラミングの感想を発表させる。 ・ ロボットと人間の違いについてふれる。	・ 作業が遅れている班には支援・補助をする。
6. 感想を発表する。	※ロボットは誰かがプログラミングしてくれる。 間違えたら直す。 人間は自分で考えて、失敗したら自分で直す。 ・ 次時の予告	【評価】（関心・意欲・態度） プログラミングに興味を持ち、主体的に関わっているか。 （観察）